令和7年度　組織マネジメントシート

部名	政策推進部

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

第六次取手市総合計画の将来都市像である「ぬくもりとやすらぎに満ち、共に活力を育むまち とりで」の実現に向け、全庁的な政策調整を図りつつ、質の高い行政サービスの展開による市民満足度の向上と効果的・効率的な情報発信によるまちの魅力度向上を目指し、「住み続けるほど好きになる街」の実現を目指す。

■組織の業務内容と果たすべき役割

・全庁で連携して市の政策を推進していくため、部門間のコミュニケーションが円滑になるよう、庁内調整を行う。
・常に改革改善を意識した行政運営に努め、市民の市政に対する満足度の向上を目指す。
・様々なメディアを駆使し、よりわかりやすく、届きやすいかたちで市内外に積極的に市政情報を発信する。
・文化芸術に親しむ機会を広く提供する等、市民が自ら芸術活動に取り組むことができる環境を整え、ウェルビーイングの向上につなげる。
・市長、副市長が公務を円滑に遂行できるよう、スケジュール管理、関係各機関等との連絡調整を行う。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

①　総合計画基本構想	・豊かなこころと個性を育むまちづくり ・活気と魅力あふれる元気なまちづくり ・自主・自律、未来をひらくまちづくり
②　とりで未来創造プラン2024	・魅力の創出と移住定住の推進 ・市民と協働でつくる地域社会 ・持続可能な自治体経営
③　個別計画	・第五次取手市情報化計画 ・第3次取手市教育大綱 ・第4次取手市教育振興基本計画 ・とりで行政経営改革プラン2025 ・地域再生計画（とりで未来創造プラン2024推進計画）

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	③魅力の創出と移住定住の推進	動画による魅力発信事業
2	③魅力の創出と移住定住の推進	市民協働による魅力発信事業
3	③魅力の創出と移住定住の推進	東京藝術大学との連携事業
4	③魅力の創出と移住定住の推進	アートのあるまちづくり事業
5	⑭持続可能な自治体経営	行政改革推進事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	アートのあるまちづくり事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	対話型鑑賞ツアー学校連携は、対象校を市立小学校全14校に拡大し、取手市独自の美術を通じた学びの場を提供する。東京藝術大学大学美術館連携では、令和6年度に藝大美術館取手館収蔵棟が完成したことを契機に、大学美術館と共催で収蔵作品展を開催することで、市民に高質な芸術を鑑賞する機会を提供する。また、オンライン・バーチャル美術館に未収録の13作品を追加し、ITを活用したアートの周知も進めていく。 JOBANアートライン協議会や取手アートプロジェクトなどのアートを基調とした団体との連携を継続し、市内外へ芸術のまち取手を周知していく。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対話型鑑賞ツアー学校連携				市内各小学校と連携し、対話型鑑賞ツアーの実施								
東京藝術大学収蔵作品展		契約準備		藝大と調整		HP等周知		藝大美術館取手収蔵品展の実施				
オンライン・バーチャル美術館		契約、撮影、とりでバーチャル美術館に作品追加、オンライン美術館の作品更新										
取手アートプロジェクト				各種事業の展開、サポート事業								
JOBANアートライン		PT会議・幹事会	総会	幹事会		アートアンブレラ・ポストカードコンテスト				幹事会		

重点事業②	学校跡地利活用推進事業	総合計画 重点施策	－
取組の内容	学校統廃合等によって生じた学校跡地の利活用方策を検討し、有効な土地利用を推進する。 令和7年度は特に小文間小学校跡地利活用に注力し、令和6年度に実施した地域との意見交換会の結果を踏まえた、隣接する小文間公民館のコミュニティ機能、防災機能を強化して跡地に移設するという方向性で利活用計画を策定する。利活用計画の策定に当たっては、更なる市民ニーズの把握に努め、市民と利活用後の施設のイメージを共有できる利活用計画の策定を目指す。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利活用計画作成			●	←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――→	●
			業務委託料 補正予算計上				計画案作成					計画策定 HP公表
学校跡地利活用 検討委員会の開催						●					●	
						第1回 検討委員会					第2回 検討委員会	
市民向け説明会の開催							●	●	●			
							市政協力員 対象説明会	市民対象 説明会	議会への報告			

重点事業③	動画による魅力発信事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	市外に住む子育て世代を主なターゲットとした移住定住促進を図るための取手市の魅力を伝える動画を制作し、YouTubeやホームページ等で積極的に配信・PRに取り組む。 今年度は、市内で活躍する人物にクローズアップし、その人物のインタビューや活動を紹介する。また、その人物の人的ネットワークを活用し、リレー形式でつなげて紹介する。その他、SNS等において市の事業・施策・各種イベント等の魅力動画を随時、作成・公開する。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取材対象者選定		←―――	―――	―→								
		取材対象者の検討・決定										
撮影・編集				←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―→	
					動画撮影・編集							
動画公開					←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―→
						動画公開（順次）						
SNS等による市の 事業・施策の魅力 動画作成・公開	←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―→
						随時、魅力動画を作成・公開						

重点事業④	東京藝術大学との連携事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	「取手市と東京藝術大学との連携に関する協定」に基づき、児童生徒を含む市民が芸術を身近に感じ、芸術的感性や知識を培うことができるような、東京藝術大学との連携事業を企画し、実施する。 小中学校へ藝大生を派遣し、美術指導や音楽指導を行う文化交流事業、藝大生や取手市長賞受賞者によるコンサートを実施するほか、市制施行55周年を記念し、藝大フィルハーモニア管弦楽団を招いて幅広い世代に質の高い芸術に触れる機会を提供する。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
藝大オーケストラ演奏会			契約		準備		周知	チケット販売			実施	
小中学校文化交流事業 （藝大指導者派遣）	計画、調整、契約		小学校美術指導事業実施					小 完了報告		次年度計画、調整		
			中学校吹奏楽指導事業実施					中 完了報告				
ふれあいコンサート	藝大と調整	HP、記者発表等周知		実施	動画編集、実施報告、次年度調整					藝大へ次年度の打診		
妊産婦向けコンサート							藝大と調整	演奏者確定 広報依頼	HP、記者発表等周知		実施	動画編集 実施報告 次年度調整
										予約受付		
市長賞受賞者による記念演奏会				前年度受賞者との打合せ、調整、広報依頼			HP、記者発表等周知、チラシ等作成		実施	動画編集、実施報告、次年度会場予約		

令和7年度　組織マネジメントシート

部名	政策推進部	課名	政策推進課

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

「とりで未来創造プラン2024」の4年間の計画期間の3年目を迎える今年度は、計画に掲げる政策や重点施策が着実に実施されるように進捗管理を行いつつ、これまでに実施した政策の評価に注力し、次期総合計画を策定する際に参考となるようなエビデンスの収集に努める。
また、めまぐるしく変化する社会情勢や政策課題に柔軟に対応できるよう、部門間の連絡調整を積極的に図るとともに、時代に適した行政運営、組織体制の構築、事業検討を行い、市の持続可能性を高める取組を推進する。

■組織の業務内容と果たすべき役割

・全庁で連携して市の政策を推進していくため、部門間のコミュニケーションが円滑になるよう、庁内調整を行う。
・常に改革改善を意識した行政運営に努め、市民の市政に対する満足度の向上を目指す。
・社会の基盤を作る重要な情報となる基幹統計に係る事務・手続を正確に行い、その情報をもとにエビデンスに基づいた政策形成を進める。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

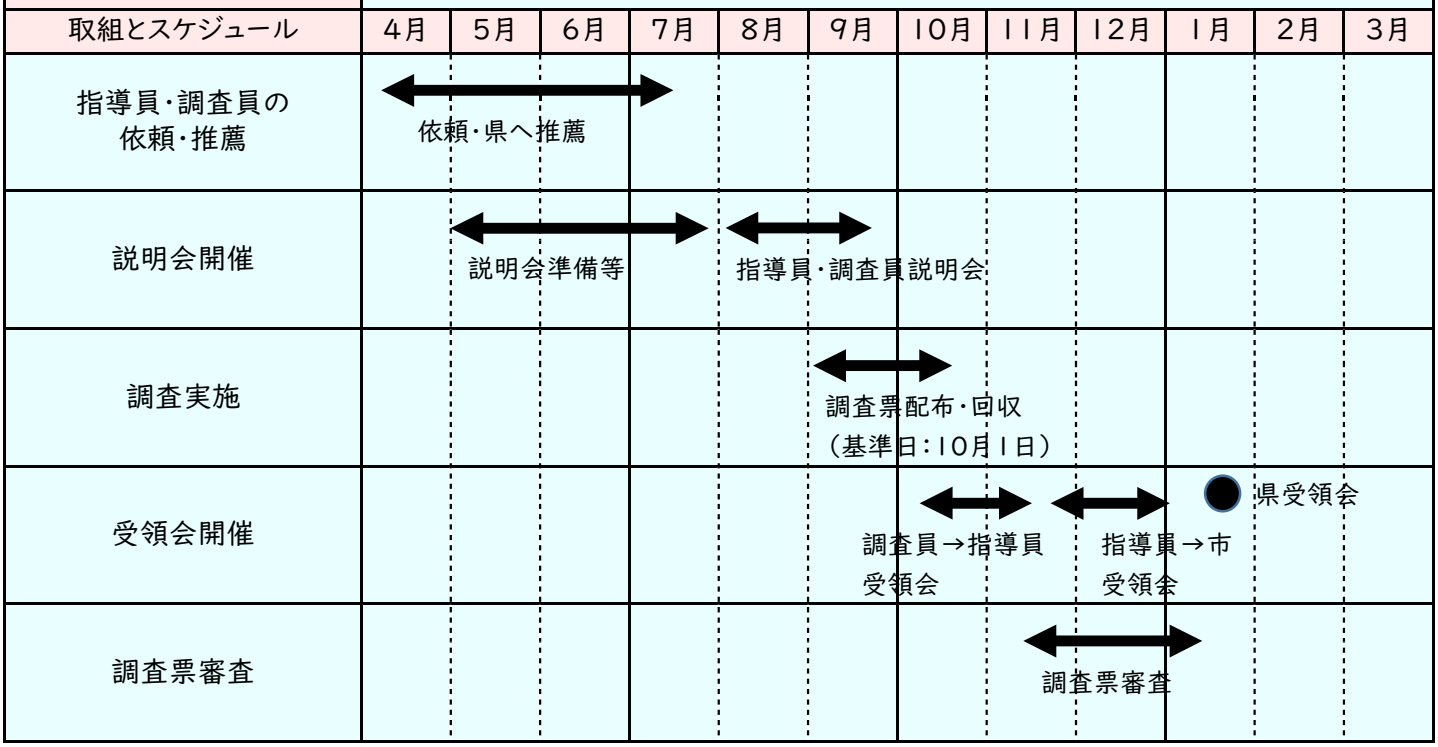
①　総合計画基本構想	・自主・自律、未来をひらくまちづくり
②　とりで未来創造プラン2024	・持続可能な自治体経営
③　個別計画	・とりで行政経営改革プラン2025 ・地域再生計画（とりで未来創造プラン2024推進計画）

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	⑭持続可能な自治体経営	行政改革推進事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	基幹統計調査（国勢調査）	総合計画 重点施策	－
取組の内容	基幹統計調査は、国が全国的な政策を企画立案し、実施する上で特に重要な統計調査である。国が実施する基幹統計調査を国県のスケジュールどおりに正確かつ確実に行い、調査書類を県に提出して完了させる。 令和7年度は国勢調査を実施する。国勢調査は日本に住んでいるすべての人を対象とし、人口・世帯等の実態を明らかにすることを目的とした、国の最も基本的で重要な統計調査である。実施に当たっては、指導員・調査員との連絡調整を図り、安全確保を適正に行いつつ、定められたスケジュールどおりに遂行する。また、事故やトラブルに対するリスク管理にも留意する。		



重点事業②	学校跡地利活用推進事業	総合計画 重点施策	－
取組の内容	学校統廃合等によって生じた学校跡地の利活用方策を検討し、有効な土地利用を推進する。 令和7年度は特に小文間小学校跡地利活用に注力し、令和6年度に実施した地域との意見交換会の結果を踏まえた、隣接する小文間公民館のコミュニティ機能、防災機能を強化して跡地に移設するという方向性で利活用計画を策定する。利活用計画の策定に当たっては、更なる市民ニーズの把握に努め、市民と利活用後の施設のイメージを共有できる利活用計画の策定を目指す。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利活用計画作成			●	←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	●→
			業務委託料 補正予算計上				計画案作成					計画策定 HP公表
学校跡地利活用 検討委員会の開催						●					●	
						第1回 検討委員会					第2回 検討委員会	
市民向け説明会の開催							●	●	●			
							市政協力員 対象説明会	市民対象 説明会	議会への報告			

重点事業③	行政改革推進事業	総合計画 重点施策	⑭持続可能な自治体経営
取組の内容	令和7年度からスタートする「とりで行政経営改革プラン2025」に基づき、行政サービスの質を向上させるための取組と、「とりで未来創造プラン2024」に掲げる「持続可能な自治体経営」を可能とするべく経営基盤を強化するための取組を進め、行政改革を推進していく。 行政改革の推進に当たっては、行政外部の委員からなる「取手市行政改革推進委員会」に進捗状況報告を行い、行政外部の視点による効果検証で効率的な行政改革を目指す。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
とりで行政経営改革 プラン2025の推進	←―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――	―――→
				行革プランに掲げた各取組項目の推進								
行政改革推進本部・ 委員会の開催							●	●				
							第1回 行革本部	第1回 行革委員会				
令和6年度 進捗状況報告			●				←―――	―――	●→			●
			改革項目シート 提出期限				行革本部・行革 委員会での報告		HP公開		R7改革項目 シート提出依頼	

重点事業④	交流人口・関係人口増加事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	人口が減少傾向にある中、子育て世代や現役世代の方々を主なターゲットとして、多様な仕掛けによって本市の魅力を伝え、関心を持っていただき、訪れる人口を増やしていく必要がある。そのため、茨城県の移住推進事業や、常磐線沿線の自治体との連携等、機会を捉えてプロモーションを図っていく。 また、全庁にわたって取り組まれている交流人口・関係人口増加事業を把握し、横断的な連携を図ることで、相乗効果を生み出していく。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
移住、定住推進への取組	←県等が行う、移住やPRにつながるイベント等への出展、参加→											
4市及びJR東日本との連携によるPR事業							←都内主要駅でのプロモーション→					
次年度事業の検討	←→											

令和7年度　組織マネジメントシート

部名	政策推進部	課名	秘書課

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

市長、副市長の公務について、定期的な課内研修により、秘書事務の充実を図ることで、適切なスケジュール管理を行う。

■組織の業務内容と果たすべき役割

市長、副市長が公務を円滑に遂行するためのスケジュール管理、関係各機関等との連絡調整を行う。また、催事等の開催にあわせて表彰を実施し、市民の市政への関心や参加意識を向上を図る。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

①　総合計画基本構想	・自主・自律、未来をひらくまちづくり
②　とりで未来創造プラン2024	・市民と協働でつくる地域社会
③　個別計画	

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1		

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

重点事業①	市長・副市長の秘書事務	総合計画 重点施策	－
取組の内容	市長・副市長の円滑な公務遂行を補助するため、課員同士及び関係各課との情報共有を徹底する。さらに、関係官庁及び協力団体等と連携するとともに、課内研修を定期的に行うことで、秘書事務の充実を図る。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市長・副市長の公務随行及びスケジュール管理	←公務随行・スケジュール管理→											

重点事業②	国際理解・多文化共生の促進	総合計画 重点施策	－
取組の内容	市内児童の国際理解や多文化共生を促進するため、取手市国際交流協会と協働し、英語に親しむ講座や異文化理解講座を実施する。対象は市内の小学校児童又は放課後子どもクラブ通所児童とし、講師は取手市国際交流協会から外国にルーツがある会員を派遣していただく。子どもたちに日本にいながら外国出身者等との交流や異文化に触れられる機会をつくることで、多文化共生社会の実現に向けて、子どもたちの異文化理解の深化を図る。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関係各所との調整	←協会と講師調整→											
講座実施準備			←打合せ・資料等準備→				←打合せ・資料等準備→			←打合せ・資料等準備→		
出前講座開催				●講座開催				●講座開催			●講座開催	

令和7年度　組織マネジメントシート

部名	政策推進部

課名	魅力とりで発信課

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

「このまちに住んでみたい」「ずっと取手市に住み続けたい」と思ってもらえるような、心に響くシティプロモーションを展開できるよう、広報とりでや各種SNS等を活用し、動画や写真を多用した視覚的にわかりやすく、子供から大人まで幅広い年代に郷土愛の醸成と市政への理解が深められる情報発信に努め、まちの認知度向上と移住定住の促進、市民生活の向上・充実を図る。

■組織の業務内容と果たすべき役割

魅力とりで発信係では、まちの魅力向上につながる総合的なPR活動、市公式ホームページの管理・運営、インターネットや各種SNSを活用した積極的な情報発信を行う。
広報係では、広報とりでを通じた市政の啓発・宣伝を行うための編集・発行と、取手記者会等の報道機関への連絡調整を行う。
これらの業務を通じ、市民生活に必要な情報を正確かつ適切に提供することで、市民のまちへの信頼と愛着を高めるとともに、地域外への積極的な広報活動とシティプロモーションにより、まちの認知度向上と移住定住の促進、地域の持続的な発展に貢献する。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

①　総合計画基本構想	・活気と魅力あふれる元気なまちづくり ・自主・自律、未来をひらくまちづくり
②　とりで未来創造プラン2024	・魅力の創出と移住定住の推進
③　個別計画	・第五次取手市情報化計画

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

	重点施策	重点事業
1	③魅力の創出と移住定住の推進	動画による魅力発信事業
2	③魅力の創出と移住定住の推進	市民協働による魅力発信事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

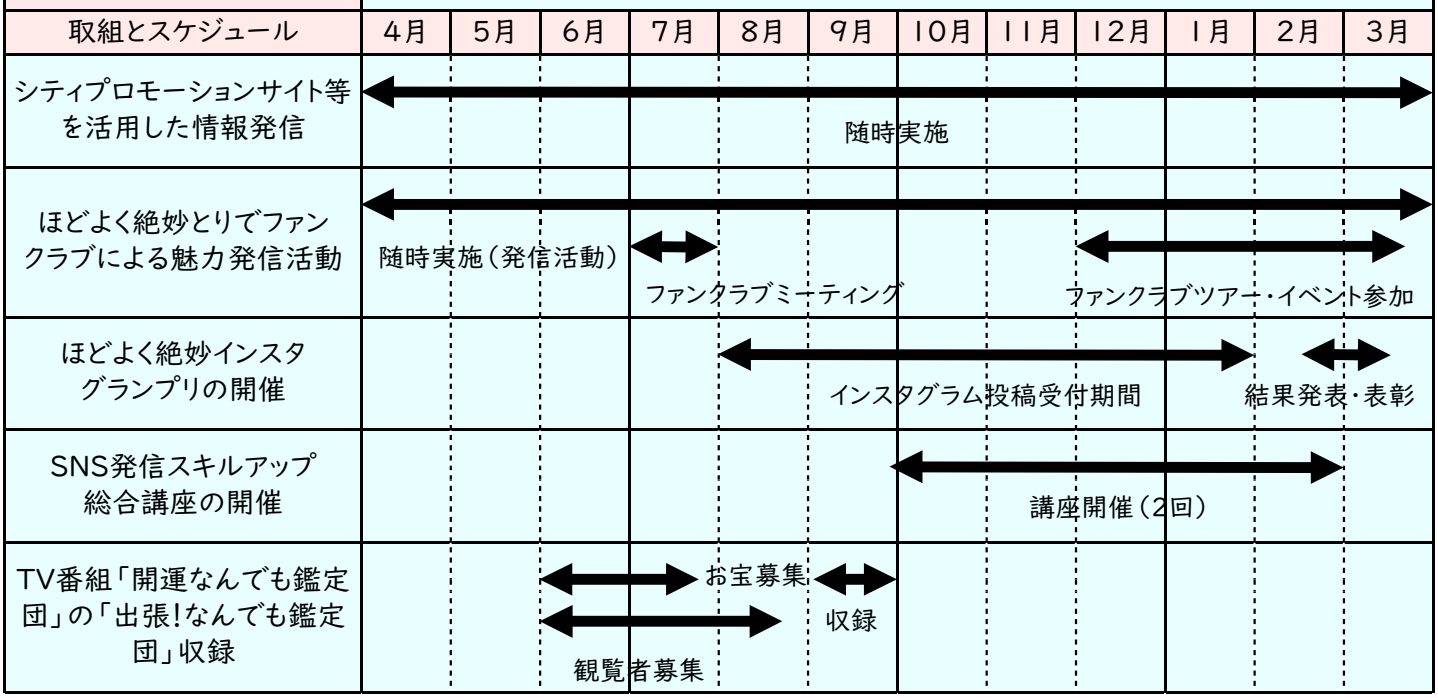
重点事業①	広報紙による情報発信事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	市の施策や計画等の行政情報をはじめ、地域の各種イベントや市民活動の様子等をわかりやすく伝える「広報とりで」の制作及び発行を行う。また、「広報とりで」を効果的・効率的に多くの市民に届くよう、新聞折込をはじめ、市内公共施設・スーパー・コンビニに配置するほか、電子媒体として、ホームページやイバラキイーブックス、行政情報アプリ「マチイロ」等に配信する。その他、市政の進捗状況や現状認識を共有する「政策情報紙」の発行に加え、今年度は小・中・高校生を主なターゲットとした「こども版広報とりで」を年1回発行する。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報とりで発行・配置等（毎月1日、15日発行）	←広報発行 新聞折込 公共施設・スーパー・コンビニへの配置→											
広報とりで電子媒体の周知	←市HP・マチイロ等の電子媒体での閲覧を広報紙・転入者向けチラシ・各種SNS等で随時周知→											
広報とりで配置施設・配置数の確認・見直し				↔			↔				↔	
こども版広報とりで取材・編集・配信・配置		←関係機関調整→			←取材・編集→						↔	
こども版広報とりでこども特派員の公募・取材等			↔公募	↔第1回企画・編集会議	←現地取材→				↔第2回企画・編集会議			

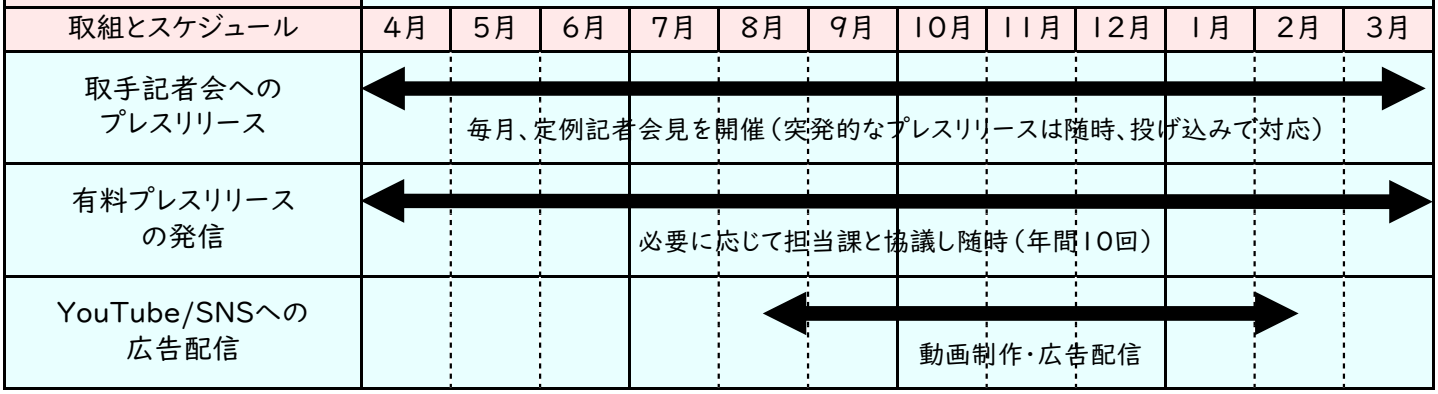
重点事業②	動画による魅力発信事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	市外に住む子育て世代を主なターゲットとした移住定住促進を図るための取手市の魅力を伝える動画を制作し、YouTubeやホームページ等で積極的に配信・PRに取り組む。 今年度は、市内で活躍する人物にクローズアップし、その人物のインタビューや活動を紹介する。また、その人物の人的ネットワークを活用し、リレー形式でつなげて紹介する。その他、SNS等において市の事業・施策・各種イベント等の魅力動画を随時、作成・公開する。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取材対象者選定		↔取材対象者の検討・決定										
撮影・編集				←動画撮影・編集→								
動画公開					←動画公開（順次）→							
SNS等による市の事業・施策の魅力動画作成・公開	←随時、魅力動画を作成・公開→											

重点事業③	市民協働による魅力発信事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	まちの魅力を市内外に発信できるよう、「取手市PR大使」や「ほどよく絶妙とりでファンクラブ」の協力を得ながら、シティプロモーションサイトや市公式インスタグラムをはじめとした各種SNSを活用し、積極的な情報発信を展開する。また、「ほどよく絶妙インスタグランプリ」や「SNS発信スキルアップ総合講座」を開催し、市民の意識高揚と発信力の向上に取り組む。その他、今年度は人気のTV番組「開運なんでも鑑定団」の公開収録を誘致し、効果的にまちの魅力を全国に発信する。		



重点事業④	庁内連携による シティプロモーション推進事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	庁内の事業や施策等の情報を集約し、より効果的に外部へ情報発信するため、担当課と連携して積極的なプレスリリースを行う。また、必要に応じて有料のプレスリリースや各種SNS、動画広告等を活用し、効果的な情報発信を行う。その他、各種情報の仕分けやターゲットの絞り込み等、行政情報や魅力情報を効果的・積極的に発信するための調査・研究を進める。		



令和7年度　組織マネジメントシート

部名	政策推進部	課名	文化芸術課

■組織目標（今年度組織が目指す姿）

例年取り組んでいる事業を引き続き推進するほか、市立小学校全校の3年生を対象にした、たいけん美じゅつ場VIVAを用いての対話型鑑賞ツアー、東京藝術大学大学美術館と協力し大学美術館取手館を活用した藝大収蔵作品の美術展、市制施行55周年を記念し藝大フィルハーモニア管弦楽団を招いたオーケストラなど、新規事業を成功させる。これらにより、アートのまち取手のイメージアップを図り、発信していく。

■組織の業務内容と果たすべき役割

文化芸術による魅力あるまちづくりを組織の役割に据え、主に市民が様々なアートを身近に感じられる環境づくりに取り組むことによって、総合計画に定める「豊かなこころと個性を育むまち」の具現化を目指し、市民のウェルビーイング向上につなげる。
そのために、東京藝術大学を含む多くの関係機関やアーティストとの調整、市民の文化芸術活動を発表する場の提供、高質な芸術を鑑賞できる機会の提供を行う。

■組織目標と計画等との関連（位置づけと意味づけ）

①　総合計画基本構想	・豊かなこころと個性を育むまちづくり
②　とりで未来創造プラン2024	・魅力の創出と移住定住の推進
③　個別計画	・第3次取手市教育大綱 ・第4次取手市教育振興基本計画

■自部署が関連する「とりで未来創造プラン2024」における重点事業

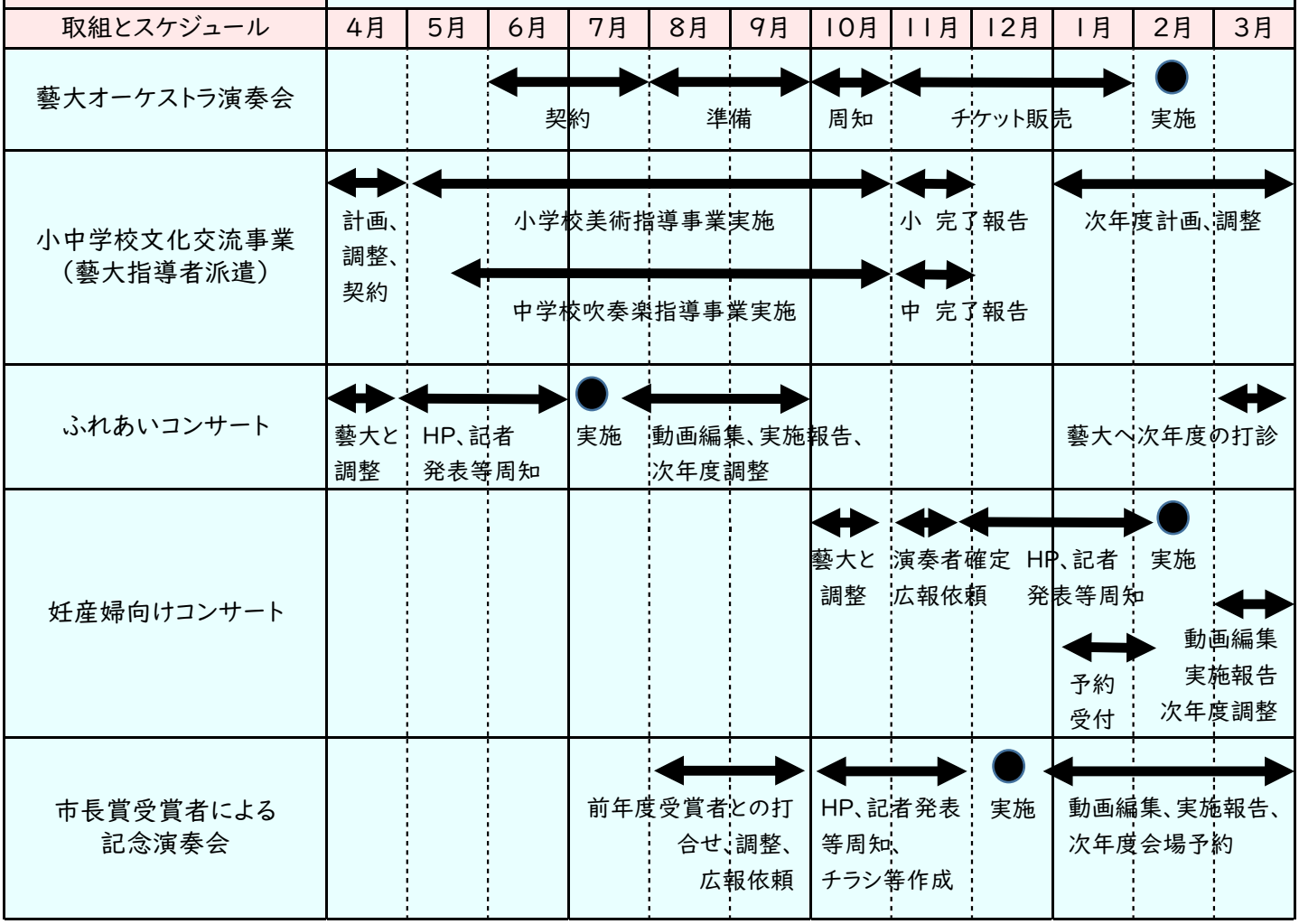
	重点施策	重点事業
1	③魅力の創出と移住定住の推進	東京藝術大学との連携事業
2	③魅力の創出と移住定住の推進	アートのあるまちづくり事業

■今年度の重点事業（自部署の中で優先順位の高いもの）

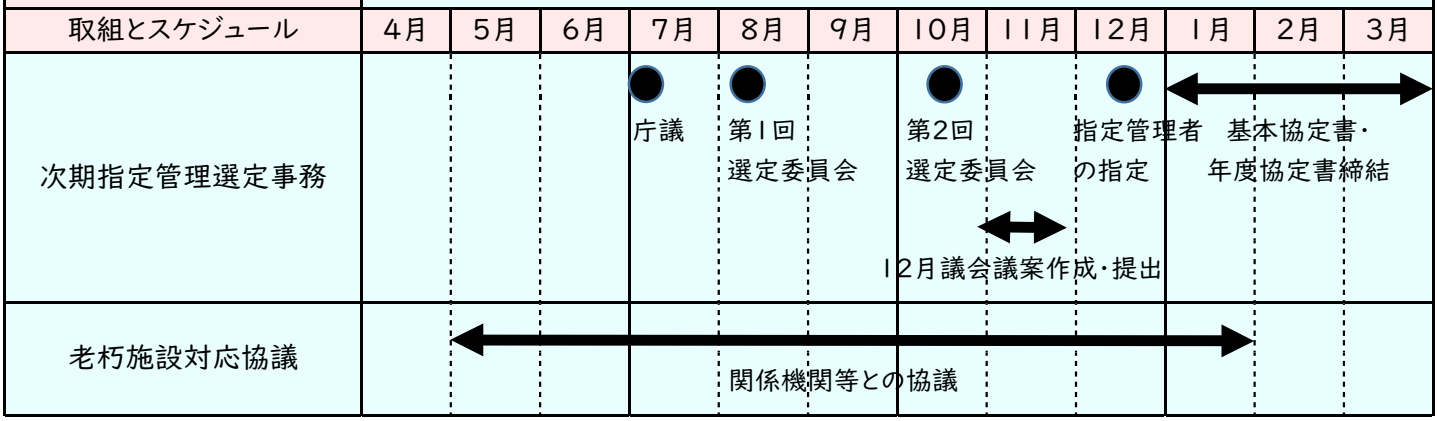
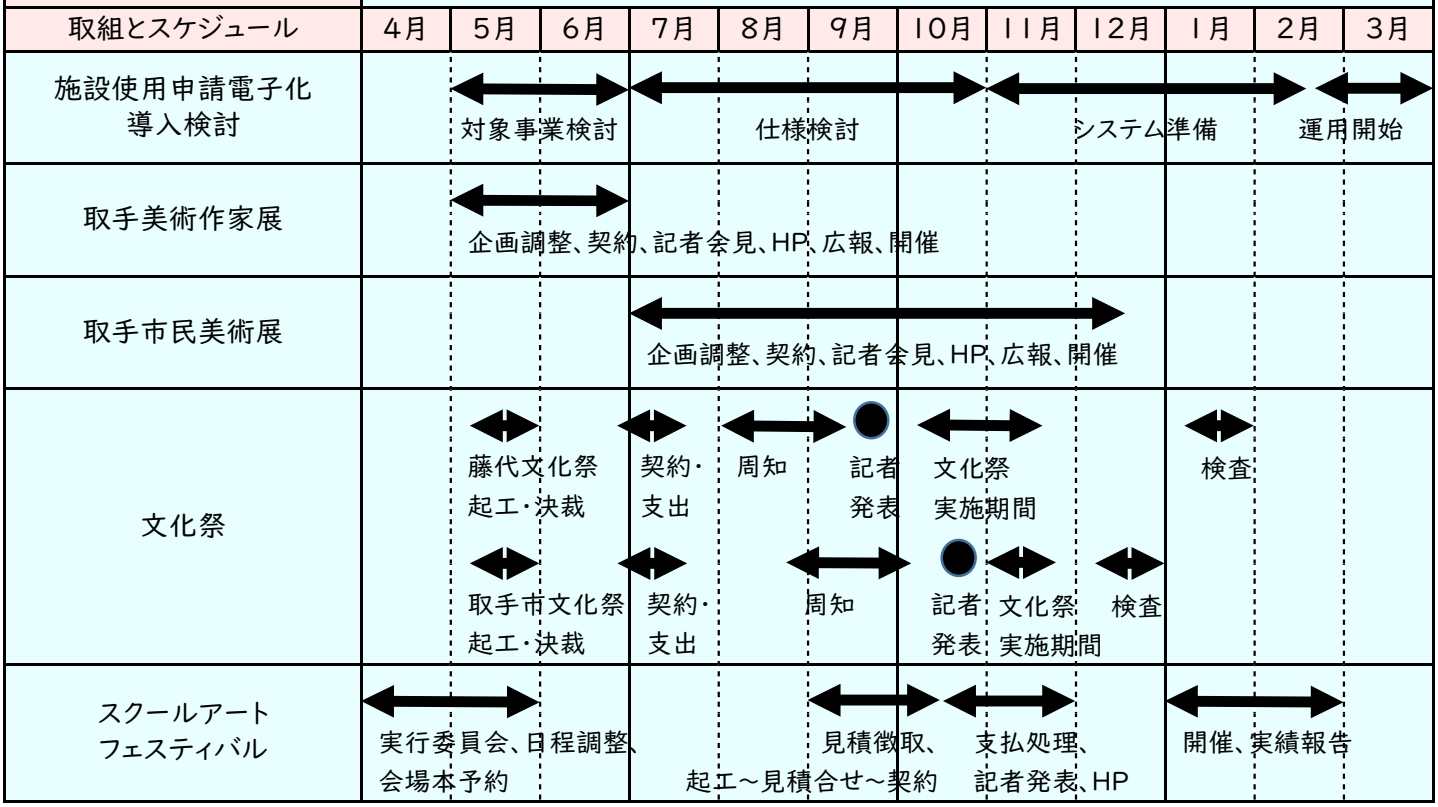
重点事業①	アートのあるまちづくり事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	対話型鑑賞ツアー学校連携は、対象校を市立小学校全14校に拡大し、取手市独自の美術を通じた学びの場を提供する。東京藝術大学大学美術館連携では、令和6年度に藝大美術館取手館収蔵棟が完成したことを契機に、大学美術館と共催で収蔵作品展を開催することで、市民に高質な芸術を鑑賞する機会を提供する。また、オンライン・バーチャル美術館に未収録の13作品を追加し、ITを活用したアートの周知も進めていく。 JOBANアートライン協議会や取手アートプロジェクトなどのアートを基調とした団体との連携を継続し、市内外へ芸術のまち取手を周知していく。		

取組とスケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対話型鑑賞ツアー学校連携				市内各小学校と連携し、対話型鑑賞ツアーの実施								
東京藝術大学収蔵作品展		契約準備		藝大と調整		HP等周知		藝大美術館取手収蔵品展の実施				
オンライン・バーチャル美術館		契約、撮影、とりまとめ		バーチャル美術館に作品追加、オンライン美術館の作品更新								
取手アートプロジェクト				各種事業の展開、サポート事業								
JOBANアートライン		PT会議・幹事会	総会	幹事会		アートアンブレラ・ポストカードコンテスト				幹事会		

重点事業②	東京藝術大学との連携事業	総合計画 重点施策	③魅力の創出と移住定住の推進
取組の内容	「取手市と東京藝術大学との連携に関する協定」に基づき、児童生徒を含む市民が芸術を身近に感じ、芸術的感性や知識を培うことができるような、東京藝術大学との連携事業を企画し、実施する。 小中学校へ藝大生を派遣し、美術指導や音楽指導を行う文化交流事業、藝大生や取手市長賞受賞者によるコンサートを実施するほか、市制施行55周年を記念し、藝大フィルハーモニア管弦楽団を招いて幅広い世代に質の高い芸術に触れる機会を提供する。		



重点事業③	市民会館・福祉会館 次期指定管理者選定	総合計画 重点施策	－
取組の内容	市民の文化芸術振興の拠点である市民会館・福祉会館が今年度、指定管理期間最終年を迎えるため、次期指定管理者選定に向け、取手市公の施設指定管理者選定委員会に意見を聞き、指定管理候補者の選定を行う。市議会の議決を経て、候補者を次期指定管理者として指定する。 また、当該施設は老朽していることから、施設や管理の在り方を関係機関や様々な主体と協議する。		



重点事業④	市民芸術活動支援事業	総合計画 重点施策	－
取組の内容	とりでアートギャラリーや市民ギャラリーを利用した作品発表や、市民会館・福祉会館・公民館等の文教施設を利用した舞台芸術発表等、市民が勤しんだ文化活動の成果を披露する場を提供する。文化の継承や人材育成を図るため、伝統的な芸能や文化芸術活動を行う市民、郷土作家、文化芸術団体と連携して、文化祭や市民美術展を催す。これらを多くの市民が鑑賞できるよう、適時適切な情報発信に努め、あわせて文化芸術活動が活発なまち取手の魅力度向上につなげる。施設利用に当たっては、申請しやすい環境創出を目指し、使用申請の電子化について、導入を検討する。また、活動補助金交付や後援名義使用承認等により、市民の芸術活動を支援する。